

# toyoto

INFORMATION ..... 2011  
MAGAZINE OF KAGOSHIMA BRANCH  
TOYO UNIVERSITY  
ALUMNI ASSOCIATION



# Toyoto

東洋大学校友会 鹿児島県支部

## 平成23年度版 支部会報

豪華4大企画 写真は語る～1年の歩み

東日本大震災 その時、あなたは？ 浦水会・校友会 支部 対談 母校・東洋大学125周年 我々に出ること 我々の望むこと。

新連載 浦水会通信

クローズアップ 校友会員 波瀾万丈

鹿児島県 支部ブログ

東洋大学校友会鹿児島

検索



KAGOSHIMA BRANCH 2011  
TOYO UNIVERSITY  
ALUMNI ASSOCIATION

Toyo University  
125<sup>th</sup>  
Anniversary

# 新しいモデル支部 を目指し価値創造

校友会鹿児島県支部は雨水会との連携を強化、 母校125周年に向け、モデル支部を目指します。



鹿児島県支部長  
松下 健一

校友会員の皆様におかれましては益々、御健勝で御活躍のこととお慶び申し上げます。校友会鹿児島県支部におきましても役員はじめ校友会の方々の心暖まるご指導ご協力によって、お陰様で、明るく元気に活動できていますことに心から感謝申し上げます。

さて、今年を振り返りますと政治も経済も混迷の年であった上に、3月11日の東日本大震災を始め、台風12号の風水被害や鹿児島県内におきましても出水市の鳥インフルエンザ、奄美大島の百年に一度と言われた、大雨災害が二度発生するなど全国的にも誠に災害の多い年でございました。被災された方々に対し心よりお悔やみ申し上げます。

来年こそはお互いにとりまして明るく佳い年であることを願って止みません。

これからの校友会支部の発展を考えますとやはり支部会員数の増員に帰結致します。現在、非常に良好な交流をさせて戴いております雨水会の皆様との絆を一層深め、現役学生に伝達してもらって若手会員を増やすことや、近い将来、奄美大島や沖永良部島をはじめ数多い離島の校友の皆様との交流の輪を広げること努力する所存であります。老いも若きも気楽に歓談し、又、異業種交流の情報交換の場としても活用して戴ける「支部」を目標に微力ながら精進して参りますので今後共、宜しくご協力の程お願い申し上げます。

今年も皆様の御協力により支部会報が発行できましたので送付させていただきます。次回寄稿、掲載等の希望がありましたら遠慮無くご連絡戴ければ幸甚に存じます。



鹿児島県支部・雨水会合同

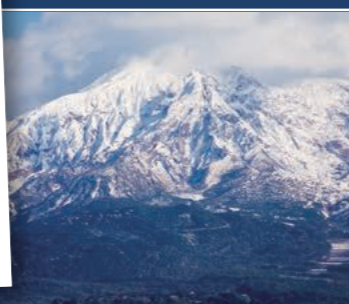
2012年1月14日(土)新年会を行います。詳細は13ページをご覧ください。→



校友会・浦水会合同新年会 1.15(かごしま敬天閣)

ビジュアル会務報告 特別企画第一弾  
**写真は語る~1年の歩み**  
 平成23年度 鹿児島県支部の1年間を写真で

会務報告の全てを写真で展開するのは不可能ですが、この1年間に撮り溜めた写真を元に季節とイベント中心に並べてみました。事務的な文字で済ませば1ページで終わる無味乾燥な会務報告ですが、写真でやると思いの外、情感のこもったものになりました。尚、参加者が漏れなく掲載されるように注意しておりますが、万一が漏れがあった場合は何卒ご容赦ください。



**合同新年会** 1月15日(土)18時より、かごしま敬天閣において新年会を開催しました。定例化を目指し2回目の新年会でしたが、昭和20年卒の桐原正吾氏、平田恒二氏の大先輩から平成22年卒の池田総司氏迄幅広い交友の参加、また浦水会の方々も加わり総勢30名となりました。往路優勝のシーンをビデオで観ながら感動を共にしました。

**お花見会** 4月9日(土)15時より、吹上温泉みどり荘の敷地内においてお花見会を行いました。計画も何も無く、電話に出られた方のみ誘った初試みでしたが、みどり荘の池田夫妻の協力により盛会となりました。温泉付き花見でしたので贅沢!東日本大震災の直後ということで「自粛」ムードもありましたが、無傷な鹿児島は元気を出そうと花見を行いました。但し、お花見会に参加したメンバーから寄付を募り、校友会本部の方に義援金25,100円を納付しております。参加人数は17名でしたが、来年は今回よりもっと大人数でやりたいです。



支部初試み お花見会 4.9(吹上温泉みどり荘)





**相撲大会** GW最終日の5月5日(日)吹上浜公園相撲場において母校相撲部及び職員の出援に行ってきました。朝9時30分には開会式があるとのこと30分前には到着し、のぼり旗を立て観戦、応援してきました。あいにくの雨で濡れない様にテントの中で応援でしたが、5月にも関わらず結構肌寒く、出場した選手達は寒くなかったのでしょうか?正直言って試合の方は振るわず、箱根駅伝のような興奮は無かったです。しかし、学生、職員、支部校友の3者ががんばって本校を盛り上げようとしていたことは評価されることと思います。(参加者11名)

**レディース会** 7月9日(土)12時より野村副支部長が中心となって、レディース会を花尾町のランチ&ギャラリー「春から夏」で行いました。趣味の良いお店の中で和やかに会話が弾み、特に松元さんと江口さんの仲良しぶりは校友というものの良さを改めて実感させるものでした。(参加者7名)



レディース会 7.9(花尾町 ランチ&ギャラリー 春から夏)



第21回全国大学・社会人相撲大会 5.5(吹上浜公園相撲場)





準備が整いました。

17:00~

総会開始



### 支部総会・懇親会

9月3日(土)支部総会を開催しました。今回は会場を県内の地方から電車やバスで来られる会員の利便性を考慮し、鹿児島中央駅近くのホテルタイセイアネックスに変えました。総会の議題のメインは支部総会の開催時期をどうするか?。現在は9月の第一土曜日でありましたが、時期が遅い、体育祭とバッティングするということもあり問題がありました。それで役員会から開催日を提議し、満場一致で7月の第一土曜日に開催することになりました。尚、来年7月7日土曜日は池田田道校友の経営する吹上温泉みどり荘で行うことで賛同いただいております。

会計報告におきましては今年から会計の方式に変更があり、収支決算のほか支部予算の報告もあり、松永副支部長におかれましては大変なご苦労のことだったと思います。また、来賓で本部から来られました米田高之氏(校友会常任委員組織部長)の挨拶並びに本部の会務報告がありました。

懇親会におきましては、素晴らしいスタートをきりました。まず東日本大震災の震災地の人々を応援する曲であるTOGETHER(君は一人じゃない)をゲストに迎えた富永章子さんと平瀬会員(母・代理)の歌唱がありました。じゃんけんゲームや野村校友によるテンポを幾分リズムにしたヨガ体操(鍵盤による伴奏付き!)と楽しいムードで懇親会は進みました。

- 開催時期 / 平成23年9月3日土曜日、総会17:00~18:00、懇親会18:30~20:30
- 会場 / 鹿児島市中央町4-32 ホテルタイセイアネックス2階宴会会場
- 参加者 / 51名(校友会46名、南水会3名、本部1名、ゲスト1名)
- 招待者3名 / 米田高之氏(校友会本部)、赤崎卓朗氏(南水会鹿児島支部)富永章子様(ゲスト)
- 会費 / 男性6,000円(41名)女性5,000円(4名)20歳代3,000円(3名)



集合写真は2~3ページをご覧ください

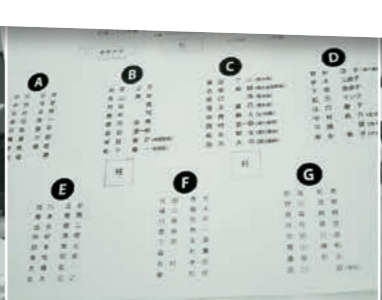
長らくお待ちしました。

18:30~

それでは懇親会スタート!



支部総会・合同懇親会 9.3(タイセイアネックス)



今迄にない忙しい会場準備でした。



年会費を未納の方は  
当受付で納付出来ます。

1年分 3,000円  
終身 50,000円





離島の方が台風の影響で  
どうにも来れない、  
突然の仕事で来れなくなった方  
支部会報を見て初めて来られた方  
ウン〇〇年ぶりに来られた方  
いろいろありました。



やっぱり音楽の生演奏が  
あると雰囲気違いますねエ  
富永幸子さん、平瀬さん  
ありがとう！





## 平成23年 鹿児島県支部 会務報告

太字の項目はこの支部会報に写真か記事等が掲載されています。

1月	15日	平成23年度 支部新年会・箱根駅伝往路祝勝会@かごしま敬天閣 (校友会・雨水会 30名)
	29日	校友会九州Hブロック支部長・実務者会議@大分 松下・西元
	30日	第60回 別府大分毎日マラソン大会記念碑 除幕式 松下・西元
2月	3日	校友 渋谷俊彦氏(現出水市長)鳥インフルエンザ対策に激励文とドリンク送付 松下
	23日	故 木場正義 元支部長に香典を送送 松下
3月	11日	東日本大震災発生
4月	9日	故 木場正義 元支部長の納骨式@南洲寺 松下
	9日	鹿児島県支部お花見会@吹上温泉みどり荘 (校友会・雨水会 16名)
	11日	大震災義援金納付(お花見会の時に募金) 西元
	18日	下尾恵美子校友の故ご主人に弔電 松下
5月	5日	第21回全国大学・社会人相撲大会@吹上浜公園相撲場 (校友会・雨水会 11名)
	21日	校友会全国代議員会@東洋大学白山スカイホール 松下・西村
	27日	支部役員会議@松阪 松下・西村・松永・西元
6月	18日	桐原正吾校友 旭日双光章受章、校友会より祝電 松下・西元
7月	2日	雨水会鹿児島県支部総会@サンロイヤルホテル 西村・西元
	6日	総会の案内ハガキ制作～支部ブログ更新(雨水会の様子をアップ) 西元
	9日	支部レディース会@花尾「春から夏」 野村・西村・江口・松永・西元・雨水会OB 中村・平瀬
	10日	支部長のお父様の告別式～弔電送付@加世田 岩城・岩元・西元・雨水会 浜田
8月	2日	支部総会に向けての役員準備会議 松下・西村・松永・有村・西元
	15日	支部総会案内ハガキの返信の集計～総会資料冊子制作開始 松下・西村・西元

8月	20日	支部総会に向けての最終打合せ～総会資料冊子最終チェック 松下・西村・西元
	23日	総会資料冊子を刷上印刷に入稿 西元
9月	3日	鹿児島県支部総会・懇親会@ホテルタイセイアネックス (校友会・雨水会 51名)
	13日	本部に桐原氏校友会会長賞申請・支部総会報告書提出 松下
	16日	支部総会・役員反省会 松下・西村・西元
	29日	東洋大学入試部柴田部長来鹿で会合 西村・岩城
10月	4日	支部会報 波瀾万丈打ち合わせ 松下・西元・ライター・春野氏
	8日	奥村会員宅訪問(支部会報 波瀾万丈) 松下・西元・ライター・春野氏
	9日	支部会報企画 校友会・雨水会対談 校友会 松下・西村 / 雨水会 岩城支部長・濱田前支部長
	12日	本部にホームカミングデイ「バザー」用「こんがりどん(さつま庵)」発送 松下
	19日	支部会報 震災企画 電話インタビュー 19～21日 西元
	22日	「法政大学卒業生 全国の集い(鹿児島で開催)」に東洋大学校友会で参加 松下
	29日	校友会実務担当者会議@雨水会館・白山スカイホール 西元
11月	30日	東洋大学ホームカミングデイ@白山井上上り了ホール～学生食堂 西元
	5日	全国支部長会議@名古屋 松下
12月	6日	全日本大学駅伝応援@名古屋 松下
	9日	支部会報全ページ文字・内容校正 松下・西村・西元
	22日	支部会報印刷入稿 西元 支部会報発送

会務報告は東洋大学校友会のブログの下記でも一部見ることが出来ます。

<http://alumni.toyo.ac.jp/blog/branch-01/kagoshima/>

### 写真は語る～1年の歩み 役員篇

支部役員1年の活動記録を写真でざっくりとまとめてみました。

この1年間に撮り溜めた役員活動の記録イベント中心に並べてみました。尚、本部の行う会議に参加した場合、併せてイベント等もありますので写真的に面白いと思われるものを掲載しています。尚、ホーム・カミング・デイは役員参加の行事ではありませんが、実務者会議の翌日にありますので、今迄の支部歴代幹事長の恒例で、上京のついででしたので参加してきました。

- 写真説明**
- ②～④九州Hブロック支部長・実務者会議(1.29)
  - ⑤第60回 別府大分毎日マラソン大会記念碑除幕式(1.30)
  - ⑥～⑧全国代議員会(5.21)
  - ⑩～⑫実務担当者会議(10.29)
  - ⑬～⑮ホーム・カミング・デイ(10.30)
  - ⑯～⑰全日本大学駅伝大会応援(11.5)



## アナタも交流の輪を広げませんか?

- ①卒業後ずっと会報は封筒に入ったままでゴミ箱直行だった...
- ②ほとんど会費を払ったことが無い...
- ③まだ一度も参加したことが無い、今更行ってもなぁと不安...
- ④先輩・後輩の上下関係とか堅苦しそう...
- ⑤二部・通信過程に通っていたので...
- ⑥子供が東洋大に通っていたけど、卒業してしまって...

→ そんな心配は無用です。新年会・お花見会 支部総会etc... お気軽にご参加ください。

写真をご覧いただいでお分かりのように東洋大学校友会・鹿児島県支部総会は「楽しい集まりの場・新たな出会いの場」です。これをキッカケに新たにお友達を増やしたり、異業種交流の場としてご自由に利用してください。

平成24年度 支部総会は7月7日(土)吹上温泉みどり荘 (連絡いただければ案内を出します)、新年会は毎年1月中旬に開催。  
☎090-4358-1947(副支部長・西村) ☎080-4174-7680(事務局・西元) まで、ご連絡ください。

参加者大募集

## 平成24年 校友会 合同 新年会を1月14日(土)開催!

場所 かごしま敬天閣 ☎099-225-2505 〒892-0853 鹿児島市城山町5-24  
時間 18:00～ 会費 5,000円 (20代会員半額)

併せて、箱根駅伝 祝勝会  
若しくは 残念会 を行います。

尚、新年会は往復ハガキでの案内は致しませんので、ご出席の方のみ電話で下記まで1月10日迄にご連絡ください。  
☎090-4358-1947 (西村)  
☎080-4174-7680 (西元)  
☎080-3188-4884 (松永)



ビデオ上映で駅伝優勝シーンに沸き立つ支部会員(三連覇祝勝会・平成22年1月30日)

# 3.11

という数字は日本人にとって忘れられない数字となった。平成23年3月11日14時12分、東北地方を襲った東日本大震災・・・35,000人以上を越す死者・行方不明者を出し、戦後最大、未曾有の大惨事となった。幸い、遠くに位置する鹿児島県は震災の被害に直接は遭わなかったが、それなりの影響を受けている方々が校友会や浦水会の支部会員の中にもいることが次第に分かってきた。編集部はその中の13名に話を聞いてみた。尚、この震災に遭われ犠牲になられた方々のご冥福を祈り、被災地の早い復興を願うばかりである。(掲載は校友会・浦水会関わらずアイウエオ順)

## 自粛ムードで大打撃を受けた3ヶ月間

校友会・有村貞輝(昭和38、経済)  
震災の後、3ヶ月ほど自粛ムードが大変影響しました。観光立県である鹿児島にとっては大打撃の一言です。観光会社・宿泊施設・交通機関・飲食店・土産物店・納入業者等観光に関連する全てが収入を失うことになる訳ですから。県・市・地元企業で協力してキャンペーンを行いました。もちろん派手にはやれませんが、関西以南をずっと営業して回りました。また原発事故による風評被害で外国からのお客様も激減しました。3月24日に鹿児島に約3000人の来客がある予定でしたがキャンセルになりまして、準備していた在庫を抱えて大変でした。当社からも海外に営業に行っていますが、未だに外国からの来客は復活していません。観光会社も危機感を募らせて、ほぼ不可能になった東北旅行プランを急遽、九州新幹線を使った中国・四国・九州のプランに替えました。それで7～9月は徐々に回復してきました。観光会社では来年4月以降には東北の方にお客様を送るプランを立てております。震災の被害を受けなかった新潟、秋田、山形、青森の観光業が相当なダメージを受けているようです。鹿児島は昨年、鳥インフルエンザや口蹄疫問題、新燃岳の噴火等で風評被害を受けましたが、東北の方々より多くの励ましを受けてきております。私たちも東北地方を応援し、その恩返しをしたいと思っております。今、その準備に取り掛かっておるところです。ただ放射能の問題がクリアされることが条件のようで、これだけが気がかりです。一刻も早く解決して日本が活気づくことを願っております。

## 鹿屋から被災地に給水車を派遣

浦水会・壱岐卓朗(壱岐賢太郎 経済3年)  
息子が野球部員でして埼玉県鶴ヶ島の学生寮におります。震災があった時、野球の練習中でグラウンドがかなり揺れたということでした。夜には連絡が付きまして大丈夫とのことで安心しました。その後、息子達は野球部のボランティアとして被災地に入り活動してきました。それより私の職場の方が動きがありました。私は鹿屋市役所の水道事業部におるのですが、鹿屋からも被災地に援助活動をしようということになり、給水車を派遣することになりました。私も是非お役に立ちたい思いで第一回目の給水活動に参加希望を出しましたが第二回目に回されました。被災地に赴いた同僚の話では、給水車は陸路で被災地のいわき市

まで向かい、実際に入ってみるとそこは戦地のように空気が全然違っていたということでした。それ以降、第二回目は実施されておられません。

## 何とも言い表せない不思議な巡り合わせ

校友会・岩城 健(昭和40、経済)  
3月初旬、卒業以来45年疎遠がちなサークルの先輩(宮城県石巻在住)よりハガキが届きました。内容は鹿児島県支部会報を見せて頂き、後輩の私が掲載され、会報が非常に面白いとありました。早速、私は先輩に電話をし会報を送付し、お礼に宮城県名産が届いたりして旧交を温めたのです。震災当日の朝、再び先輩から鹿児島の校友の連絡先を知りたいと電話がありました。私は連絡先を調べてお昼過ぎにFaxを送った後、何気無しにテレビを点けて唖然。宮城県が津波に飲み込まれていく映像でした。直ぐに先輩の携帯電話に連絡入れるも繋がりません。やっと20日後に電話がありました。留守録には気付いていたけど、充電が出来ず電話出来なかったこと、自宅一階は住めなくなり、二階に住んでいるとの由。あの支部会報が無ければ、こういうことも無かった訳で不思議な巡り合わせを感じた次第です。ホント無事で良かった。

## 葬儀で娘が里帰りの間に震災起きる

校友会・岩本宏之(昭和43、文)  
神奈川県川崎市に娘が嫁いでおります。3月10日辺りに鹿児島の親戚に不幸がありまして、葬儀のため娘は孫と一緒に私の家に帰ってきておりました。葬儀も終わり11日にテレビで震災の映像を観て驚きました。幸い川崎に居る婿の無事は直ぐに確認出来ましたが、テレビのニュースを観ると、余震は頻繁に続く、水が出ない、食料が店頭が無い、原発事故・・・諸々の事情などを考えると川崎に帰すべきか?そこで婿と私達夫婦は、生後七ヶ月の孫を最優先に考え、娘にはこちらに留まってもらうことにしました。それで2ヶ月程は滞在したでしょうか。孫は可愛かったけど娘とは親子喧嘩をしてました。そうしている内に川崎の方も落ち着いてきたようで、娘は孫を連れて帰っていききました。

## 自粛ムードでピンチを迎える

校友会・池田日道(昭和62、観光)  
私共の宿「みどり荘」は昨年鳥インフルエンザや口蹄疫問題、新燃岳の噴火等で鹿児島へのお客様が激減、危機感を募らせていました。故に今年は3月12日

に九州新幹線が全線開通ということで期待を寄せていました。いよいよ開通前日となる11日、東日本大震災が発生。祝賀記念式典は中止になるも開通はしましたので震災発生数日は関西方面からお客様も来られていました。しかし、自粛ムードが影を落とし始め、次第に予約が減り4月末まで影響が続きましたね。今年はいよいよピンチだと思い始めた矢先、次第に予約が増え始め、5月以降からかなり忙しくなりました。正直ホッとしました。新幹線効果もありお客様がこちらに流れる様になったようです。但し関東以北からのお客様はバツリと無くなりました。当宿は全国組織「秘湯の会」に加盟しております。会の活動を通じて東北の宿の応援もしたいと思っております。

## 融資出来ずお客様共々困った状況に

校友会・池田総司(平成22、地域国際観光)  
金融機関に勤務しております。信用金庫ですので建設企業様に融資をすることが多いのですが、震災の影響がありました。建設用の資材の殆どが震災の復興優先で東北地方に回されてしまうのです。建設企業のお客様も仕事を進めようにも資材が無いので仕事を進めることが出来ないのです。工事が遅れ完成も遅れますと入金も遅れますので、その繋ぎ資金として融資を求められるのですが、こちらも先の見通しが立たないということで融資が出来ず、お客様、当方共々困った状況になりました。個人のお客様で、資材は東北の方が優先ですので、自宅に温水器等の設備を入れたくてもこちらに入ってくる、見積もりが立たないので融資が出来ないという状況もありました。保険商品も扱っているのですが、震災を機に保険に加入されるお客様がふえましたね。

## 息子に生活物資を何度も送る

浦水会・岡崎 朋子(岡崎貴大・経営4年)  
当時息子は3年生で就職活動を控え東京にいました。私は外出中に友人の電話で大地震が起きたことを知らされました。近くの電気屋に入ってテレビを観まして直ぐに息子の携帯に連絡を入れるも繋がりません。何度かトライしてやっとメールが繋がりが、無事を確認出来ました。夜には時々電話が繋がるようになり話を聞くと、震災の時、息子は板橋のアパートの近くにいらしいです。しかし、夕方コンビニに行ったら人が殺到しており食べるものが何も置いて無かったらしく、仕方なく帰ってきたそうです。翌日もお店は空っぽで何も無く、のんびり屋の息子もさすがに心配になったようで、いろいろと送って欲しいと連絡してきました。震災

から2日後、紙類や食料を箱に詰め送りましたが、届くの1週間かかりました。その後も2回送りました。電池や懐中電灯等も送ろうと買いに行きましたが何処も置いてありません。紙類も不足していたらしく、友人の分も含め大きな箱に詰めて送りました。結局、息子の春休みは就職活動を控え、東京にいたにも関わらず就職説明会は殆ど中止になりました。

## 飲まず食わずが10日程続いた息子

浦水会OB・中倉真由美(中倉裕人・平成21、経営)  
長女と息子裕人が関東にいます。大宮の長女から「地震があって大変」と仕事中の私の携帯にメールが入りました。数分後に事務職員が監査から帰社、直ぐに事務所のテレビを点けました。私共はテレビを観て仰天、娘からのメールが重大事だと気付いたのです。鹿島にいる息子は大変でした。当日は社会人野球で東京スポニチ大会の試合終了後、神宮球場で待機時に地震に遭ったようです。他のチーム共々安全な場所に退避してましたが鹿島に帰ろうということとなり、15時バスで一般道で帰路につくも大渋滞で先に進まず、何処にも寄れず、帰り着いたのが12時間後の午前3時だったそうです。鹿島に入ると車はひっきりかえっているし、液状化が凄まじく勤め先の工場も火災で焼けていました。寮は水も食料も尽き、飲まず食わずが10日程続いたようで、スナック菓子などで食いつないでいたようです。水は成田迄車で2時間かけて買いに行っていました。鹿児島から水とか送ろうかと尋ねましたが職場で何とかするというのでした。練習グラウンドも使えなくなり、会社も稼働しない状況下、他のグラウンドで練習したり、ボランティア活動をしていたようです。半年後の9月にやっとグラウンドが使える様になったようで、普段の日常の有り難さが身にしみたと申しておりました。

## 「お父さん、僕は大丈夫だからね」

浦水会・濱田了二(濱田直貴・経営4年)  
11日午後3半過ぎ、職場にいた私の携帯に公衆電話からの着信、電話に出ると東京から息子の声です。「お父さん、僕は大丈夫だからね」と。突然のことで何のことやらサッパリ分らないので「いきなり公衆電話からどうした?」と聞くと「お父さん知らないの?テレビを点けてみて」と催促するのですが、職場は大所帯で皆が仕事です。何だろうと思いつつテレビを点けると津波の映像です。「これは映画?」職場の皆も私の姿に気付きてテレビが集まってきました。次第に職場が騒然となり「お父さん10円玉が無いから電話切るよ」と息子は言い残し電話を切りました。何故公衆電話から電話してきたのか?理由が分かりまして、こちらから息子に電話をかけ直すも全く繋がりがありません。それまで通常業務モードだった職場が一転、各支店に問い合わせるやらで騒々しくなりました。あの風景は今でも記憶

に残っています。その後暫くビジネスフォンの生産がストップし、受注しても入荷待ち、売上げが上がらず事事的には辛い日々が続きました。

## マスコミのあり方に大いに疑問

浦水会・原口 済(原口 寂・企業法2年)  
子供達は3人とも関東在住です。長女は千葉の幕張で教員、長男と次男は学生で、世田谷の同じアパートにおり長男が東洋大生です。震災の時は兄弟は幸い春休みで帰っておりました。兄弟の部屋は不動産屋に電話で確認をお願いし大丈夫でした。長女だけは地震で学校が揺れて大変だったようです。無事は確認出来ましたが、幕張は液状化が甚だ酷く、学校から家に帰れない子供達と一緒に二日程教室に寝泊まりしていたようです。兄弟の方は志布志の自宅で掃除やら手伝いで私にコキ使われておりましたので、新学期開始前に東京に逃げ帰って行きました。3人ともいい歳をした大人ですから特に心配はしませんでした。ただ、不安を煽るだけ煽り、自己を顧みないマスコミのあり方には大いに疑問を感じましたね。

## 見込み売上げ1000万円の損失

校友会・福山厚裕(昭和63・法)  
私は鹿児島中央駅前にあるホテルに勤務しています。ホテルでは九州新幹線開通と祝賀式典、それ以降に新幹線で来られるお客様のご来場に大いに期待がありました。しかし、3月11日の大震災発生で翌日の新幹線開通祝賀式典は取り止めになりました。震災とそれに伴う自粛ムードで3月の後半からホテルの営業に暗い影を落とす様になりました。春の叙勲受章を予定されていた方の個人祝賀会、パーティー、会議、諸々のイベント等が次々に中止、キャンセルが相次ぎましたね。5月迄影響がありまして売上げ見込みとして1000万円程を計上しておりましたが、それが全部水の泡でした。ホテルとしても相当なダメージでしたので、営業を頑張っておりましたが、なかなか厳しい状況におかれていました。

## 車両保険の問い合わせが増加

校友会・藤原哲志(昭和63・法)  
保険代理業をやっております。震災の影響と言えば、

テレビで車が流されていく映像を観たお客様から、車両保険に関する問い合わせが突然増えました。地震等が起きた場合は車両保険は適用外ですが、改めてそれを詳しく説明するようになりました。また火災保険に地震保険を加える方が増えましたね。何故なら地震による火災の場合、火災保険だけでなく保険が適用外の場合があるので。特に鹿児島では桜島があり大噴火により地震が起こりうるのです。それから保険会社から聞いた話ですが、震災後、鹿児島からも東北の方に査定の手伝いで動員があったようです。でも、津波で家も電話も何も流されて無いわけですから、お客様に連絡が付けられず八方塞がりの場合が多かったようです。契約時には固定電話だけでなく、携帯電話も付け加えた方が良いでしょうと、彼らが教えてくれました。

## 緊急消防援助隊の初派遣と混乱

校友会・松永幹太(昭和53・経済)  
当時、県危機管理局(消防保安課)に勤務しておりました。当日津波の様子はテレビモニターでずっと確認しておりました。「これは通常の津波ではない。ただ事ではすまされないぞ!」と緊張が走りました。津波の到達予想時刻は発表されておりましたので、県内の海岸線にいる方々特に釣り客やサーファー等に防災ヘリで避難を呼びかけるよう指示しました。それから数日後のこと、県内の消防本部で結成された「緊急消防援助隊」という組織があるのですが、これに初めて消防庁から出動命令が出されました。「緊急消防援助隊」とは平成7年の阪神淡路大震災後に複数の都道府県をまたがって起きた災害に対応出来るよう各都道府県単位の消防で組織するようになったものです。組織は立ち上げたものの九州管内では出動するような大きな災害も無かったのです。今回、いよいよ出動命令が下りましたので、県消防本部から40台の車両、100人の隊員が3日掛かりで被災地に赴き一週間程度活動してきました。何分にも初めてのことで出発方法、何を携行していくのか、食料はどうするのかと調整する項目が多く、更に情報が錯綜しておりましたので調整作業が大変でした。刻々と状況が変わっていくので指示も頻繁に変わります。その都度、夜中に何度も叩き起こされてに調整作業に追われる日々でした。

**東洋大学陸上競技部にとっても、東日本大震災は、特別な意味を持っていた。**  
酒井俊幸監督(福島県石川町出身)、佐藤 尚コーチ(秋田県横手市出身)、主将の柏原竜二選手(福島県いわき市出身)、副将の川上達平選手(宮城県仙台市出身)多くの関係者が被災地および東北地方の出身者というチームだから。  
●主将の柏原竜二選手(4年)はその時、千葉県での合宿から寮へと戻る、首都高速の車の中だった。「道路がグワングワンと揺れて、ただ事ではないと感じて、すぐにつけたラジオやワンセグで、東北地方が大変になっていると知りました。すぐに実家に連絡したもののまったく繋がらず、いわきに住む両親と連絡が取れたのは3日後でした」。震災後は全体練習を中止。西日本出身の選手はすべて帰省し、北関東出身の学生は帰省せずに寮に待機となった。練習は各自に委ねられ、予定していた通常練習は不可能になった。計画停電の影響を受けた寮で、練習どころではないというのが実態だった。柏原選手は両親と連絡がつくと、すぐに高校時代の恩師にも無事を確認していた。今でも日頃から連絡を欠かさない、いわき総合高校陸上部顧問の佐藤先生。心配する柏原選手に佐藤先生は、こう言った。「いま、お前にしかできないことは何だ?東洋大学がいい結果を残して、福島の人たちを元気づける。それこそがお前の仕事なんじゃないか?」先生の無事を確認するための電話だったのに、逆に僕の方が叱咤激励されてしまったんです。このひと言で迷いが消えました。その後の柏原選手は、迷いなく走り向き合っている。授業や練習の合間を見ては、「風評被害」に苦しむ故郷を思い、復興支援イベントのオファーも受けた。「走りチームを引っ張っていく」主将の姿に、走るどころではなかったメンバーも、一人また一人、本来の走りを取り戻していった。  
●同じく福島県出身の酒井俊幸監督はこう語る。「こうして生かされた者として、陸上競技ができることに感謝しなければなりません。電気があること、水があること、暮らす家があること、仲間がいること。以前は当たり前だった日常生活を含めてです。ひとつの勝利も、日々の小さな努力や、支えてくれる人たちの無数の思いが集まって、はじめて手にできるもの。「勝利」というものがどのようにしてできているかということ、小さな奇跡を積み重ねた上にこそ、大きな奇跡を作り上げられるということ、を、チーム全体で再確認しました。」 (東洋大学ホームページ 2011年度駅伝応援特設サイトより引用)

# 特別企画 第二弾 東日本大震災 支部会員インタビュー特集

# その時、あなたは……?





2011年 鹿児島県支部総会 7月2日土曜日 サンロイヤルホテル

# 浦水会通信 Vol.1

浦水会は校友会にとって極めて近い従兄弟のようなものです。支部会員より平均年齢が若く現役バリバリの方が殆どです。写真をご覧になればお分かりになる筈。ここ数年、校友会の支部総会や新年会において、浦水会の役員の方々や浦水会OBの方々が参加されるようになりました。とはいえ、浦水会は「東洋大学に通う現役学生の保護者の会

ある」という性質上、学生の卒業と共に殆どの保護者の方々も「卒業」されてしまいます。卒業の時点で我々はその繋がりを失っているとも言えます。校友会と浦水会が上手く繋がっていくこと、良い関係が継続すること、これは双方にとってとても有意義なことではないでしょうか？その為には、お互いを知ることはとても重要なことと思います。そこで、支部会報編集部では浦水会鹿児島県支部のページを設け、浦水会の情報発信をすることにしました。微力ながらも、このスペースが相互理解の役割の一端を担えれば幸いです。(支部会報編集部)

**ご挨拶**  
支部長 壱岐卓朗

平成23年度 浦水会鹿児島県支部長の壱岐と申します。校友会鹿児島県支部の皆様へ懐んでご挨拶申し上げます。去る今年7月に濱田前支部長より支部長の任を引き継ぎました。大任ではございますが、1年間精一杯つとめさせていただきます。このたび、校友会鹿児島県支部「会報」へ浦水会情報掲載の企画を頂き、松下部長をはじめ、校友会の皆様へ心より感謝申し上げます。浦水会は昭和34年1月に「父母の会」として発足して以来、全国59支部がそれぞれの地域性を加味した特色のある活動を行っている歴史と伝統のある会でございます。鹿児島県支部につきましても、7月2日に支部総会を開催しまして、9組12名の参加で、大学側から現在の大学生活の状況や就職状況の説明があり、有意義なひとときでありました。懇親会についても全員出席で大学側と会員との親睦・交流がはかれ、2次会までアットホームな雰囲気でお話しが図れました。浦水会のような父母の会が結成されている大学は全国的に見てもそれほど多くはないようです。来年2012年は大学創立125周年の年になります。陸上部については箱根駅伝往路優勝総合2位の輝かしい成績、硬式野球部については春期大学野球全国制覇という結果という目覚ましい活躍しております。自分の子供の通う大学の活躍は大いに誇りに思うところがございます。今後の更なる活躍を期待し浦水会としても子供に対する協力強化を進めて参りたいと考えております。最後になりますが、今後とも浦水会諸事業に対する一層のご理解・ご協力をお願い申し上げますと共に、東洋大学の発展、皆様方のご健勝・ご活躍を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

**退任のご挨拶** 前支部長 濱田了二

在任中は校友会鹿児島県支部の皆様には、浦水会の活動にたいし格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。在任中痛感した事として、県域が広く、会員間の相互交流を如何に進めるか?が最大の課題でした。情報発信する所には人は集まると感じていましたが、なかなか具体的な対策がとれないというのが実情でした。今回の企画により、「支部会報」をすべての浦水会支部会員へ届けることで、会員間のより深い相互交流が図れ、一人でも多くの方が浦水会・校友会の支部総会をはじめ、多くの行事にご出席頂ければ幸いです。尚、浦水会の役員期間は短く、相互理解が深まった頃には役員交代となります。浦水会の組織をよりよく引き継ぐ必要があると感じておりました。壱岐新支部長の今回の取り組みが、相互交流のさらなる飛躍の一步なることを期待しています。子供に対する協力強化を進めて参りたいと考えております。最後になりますが、東洋大学の発展、校友会・浦水会の皆様方のご健勝・ご活躍を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。



浦水会本部顧問 金森 泰子様



経済学部教授 門間 麻紀様



## 役員構成

- 東洋大学浦水会 自平成23年 7月  
鹿児島県支部 至平成24年 7月
- 支部長 壱岐 卓朗 (壱岐 賢太郎/経営3)
  - 副支部長 原口 濟 (原口 寂/法2)
  - 幹事 下之蘭 敏幸 (下之蘭 佑大/経営2)
  - 幹事 山方 泉 (山方 健士朗/理工1)
  - 監事 児玉 直巳 (児玉 英樹/国際地域2)
  - 監事 竹ノ内 洋巳 (竹ノ内 亜衣/国際地域3)

1年	2年	3年	4年	計
5	11	11	8	35

日付	内容	場所
5月22日	平成22年度評議員会	東京都白山 浦水会館
6月26日	鹿児島県支部会計監査 鹿児島県支部役員会	鹿児島県サンロイヤルホテル
7月3日	鹿児島県支部総会	鹿児島県サンロイヤルホテル
9月4日	平成22年度全国59支部長研修会 校友会鹿児島県支部懇親会	東洋大学白山キャンパス かごしま敬天閣
10月23日・24日	平成22年度浦水会「会員の集い」	井上円了ホール
1月15日	校友会鹿児島県支部新年会	かごしま敬天閣
2月12日	平成22年度九州地区支部長会議	長崎県佐世保市 ホテル万松楼

鹿児島市内	18	始良市	1	始良市	1
奄美市・奄美大島	5	阿久根市	1	阿久根市	1
鹿屋市	4	霧島市	1	霧島市	1
さつま川内市	2	志布志市	1	志布志市	1

浦水会鹿児島県支部資料  
浦水会本部資料より引用

**浦水会の目的**  
本会は、昭和34年1月に「学生の善意と知性の伸長、健康の保全ならびに就職の斡旋等を通じ、大学に協力して学生生活の充実を図り、父母相互の親睦と連帯の責任感によって、学生の将来に希望と幸福をもたらすことを念願する」という趣旨をもって設立されました。以来、星霜を重ねて49年迎えたではありませんが、昭和59年からは第2部(夜間部)学生のご父母・保護者の任意加入を得まして現在会員総数は2万4千人を超え、本部と59支部が常にながらちり連携し、大学と協力しながら共に学生の卒業まで見守り続けていくという意味からであります。

**「浦水」の由来**  
学祖井上円了先生が哲学館(東洋大学の前身)と哲学堂(東京都中野区)の経営のために寄付金を求めて国を講演して歩かれた時、寄付を寄せられた人々にそのお礼として書を揮毫され、書の「雅号」に浦水として使用されていた「浦水」をいただき浦水会となりました。「浦水」とは、学祖井上円了先生の出身地「越後の国、長岡西組浦村(現在の新潟県長岡市)」の「浦」を分散して、部首の「氵」(サンズイの「水」と「浦」を組合わせて浦水という雅号として使用されていたものです。

文学部	日本文学文化学科	1	1
経済学部	経済学科	1	2
	国際経済学科	1	
経営学部	経営学科	4	
	マーケティング学科	1	8
法学部	会計ファイナンス学科	3	
	法律学科	1	2
社会学部	企業法学科	1	
	社会学科	1	
社会学部	メディアコミュニケーション学科	5	7
	社会心理学科	1	
理工学部	電気電子情報工学科	3	
	応用化学科	1	6
国際地域学部	都市環境デザイン学科	1	
	建築学科	1	
国際地域学部	国際地域学科	1	2
	国際観光学科	1	
生命科学部	生命科学科	3	3
	生活支援学科	1	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	1	3
	人間環境デザイン	1	
総合情報学部	総合情報学科	1	1

校友会の先輩方、壱岐です。私達の子供達を末永く「浦水」に願っています。



支部長 壱岐卓朗



# 甫水会・校友会支部対談



校友会鹿児島県支部長  
松下一



議事進行・校友会鹿児島県支部副部長  
西村正一郎

取材・校友会鹿児島県支部幹事長  
西元大作

## 母校・東洋大学 創立125周年 我々に出来ること。 我々の望むこと。



創立125周年記念研究棟(仮称)完成予想図

東洋大学2011パンフレットより引用

我が母校東洋大学は

明治二〇年(1887年)に創立され  
平成二十四年(2012年)に  
創立125周年を迎えます。

大学では記念事業の実現に向け、  
さまざまな環境整備を進めています。

- 創立者・井上円了の理念に基づく育英事業の展開
- 総合学園計画の推進と教育研究施設の拡充
- 体育・スポーツの課外活動の充実
- 建学の精神の共有と継承

●多様な教育機会の提供  
などを課題に五つのプロジェクトを挙げています。  
そこで甫水会・校友会鹿児島支部では

創立125周年に向け我々に出来ること、  
我々が学校に望むことを等を  
甫水会・校友会の現支部長、

副支部長(校友会)・前支部長(甫水会)を交えて対談し、  
今後の支部の運営に関し指針となるものを考えてみました。  
んですよね。

●吉岐 どこでどう接点があるかなんて  
行つてみて話してみないと分からない。そ  
ういうことが多々ありますよね。

●松下 出席してみないと分からないわけ  
です。面白いから行く、面白くないから行か  
ないという受動的な考え方でなく、参加  
して自己アピールを含めてどう考え行動す  
るかも必要ではないかと思ひます。

●西村 なるほどですね。今回の支部総会  
では20年振りだとか、そういう方が5名も  
みえました。数年前も新聞のポスト欄を見  
て、名前すら出してなかった方が出席され  
ました。会員を増やすという意味では支部  
会報、これを充実させ、普段出席されていな  
い会員の方々にも配布するようにしていま  
す。会報をみて「楽しそうだから行つてみた  
い」と思つて貰うことが会員を増やすこと  
に繋がると思ひます。但し、その一方では亡  
なつていく方もあるわけで、やはり若い会員

を増やすことが重要なんです。

●松下 いずれにしろ甫水会の会員の方が  
増えることを非常に期待しているわけ  
です。少子高齢化といわれるとおり、我々の世  
代でしたら甫水会会員は2学年当たり数十  
名だったのが、今では全学年で30数名程度で  
すか? 厳しい。現役学生の父兄の方々には  
甫水会に参加して頂き、インターン、Uター  
ンの方々も含め、校友会とも是非繋がつて  
いきたい。校友会にはいろんな職種、業種  
の方がいっぱいいますので、進路相談等  
ではないかと思ひます。今は校友会本部のホ  
ムページも充実してきていますので、連絡が  
容易になっておりますし、探しやすい環境に  
なつていきたいと思います。

●濱田 東洋大学全体からみれば、高校生  
く受験生含めて対処していかないと甫水会  
も増えないし、校友会も増えない、そこへ  
アクションをどうやっていくかということが

甫水会・校友会の支部会員を増やすには…  
●西村 甫水会と校友会の鹿児島支部  
はい意味で繋がっております。本題に入る  
前にちょっとお伺いしますが、大学からの甫  
水会の案内は、まず支部長或いは会員に直  
接届くわけですか?

●吉岐 支部長のところに届きますね。入  
学の時に甫水会を告知する案内文書が  
送つてきますが、多分親御さんはそれ以上  
のことは「存知らない」と思ひます。また7月の  
総会の前に我々役員は案内ハガキを送付し  
た後に、電話して参加を促しますが、実際  
に来られるのは一部の方々だけです。この間  
も本部で甫水会支部長会に参加し、多くの  
支部長の方々と意見交換等してきました。  
そこですは甫水会会員を増やしたいとい  
う意見が大多数でした。もつと甫水会を  
知つてもらいたいですね。

●濱田 今までは総会案内のハガキ程度  
で、甫水会支部の会報等は出してないで  
す。会報や何らかの案内などで情報開示等  
を行い、1年生の時から参加していただ  
けの取り組みが必要ですね。

校友会員(特に若い会員)を増やすには?

●西村 校友会では会員 特に若い会員を  
いかに増やすか? が大きな問題です。甫水  
会の方から見て校友会の印象は如何でし  
ょうか?

●濱田 何度か参加して思うのは、校友会  
と甫水会の連携が上手くいけば、もつとい  
会になる可能性があるのではないかと。ま

大きな課題だと思ひます。今年度は入学者  
数が昨年10名ほどだったのが僅か5名でし  
た。それは何故なのか? そこも考えて行  
かないといけないのですが、そこは大学が中  
心になって、鹿児島から如何にして受験生  
を増やすか? というような取り組みが必要  
だと思ひます。

●松下 せっかく新幹線も開通したし、本  
部にも強く要望を出さないか? (笑)

●西村 ここ数年で鹿児島支部も甫水  
会との繋がりが出来てきたわけですが、そ  
の連携で若い人達が参加するようになった  
例が幾つか出てきました。だから増やせる  
可能性は知恵を絞ればいくらでもあるん  
じゃないかと思ひます。但し、甫水会以外  
の新規の卒業生の情報が無いのです。どうや  
つて情報を見つめるかが懸案事項です。

●濱田 大学の今年のパンフレットの平成  
23年度Uターン就職者数の中に鹿児島が2  
名というのがありました。その細い情  
報等を大学から頂けたら良いですね。

●松下 そうすれば、その年から鹿児島  
支部の案内が送れる訳ですね。

●西元 それから支部会報の利用法とし  
て、甫水会の方にも配布するようにすれ  
ば、そこから子供さんと繋がっていくのは  
ないかと。そのために会報の内容を校友会  
関連だけでなく、甫水会の内容も盛り込ん  
でいき、今回のような対談企画等を行う等  
して、関心をもつてもらおうと企画作りが大  
切だと思ひます。また支部の活動範囲に捕  
われずインターネットのフェイスブックやミ  
クシー等を活用して若い会員を増やすのも  
つ手段だと思ひます。

●松下一なるほど、それは前向きに取り組  
まないとイケないですね。  
校友会の場合は繋がりは一生ですけれど

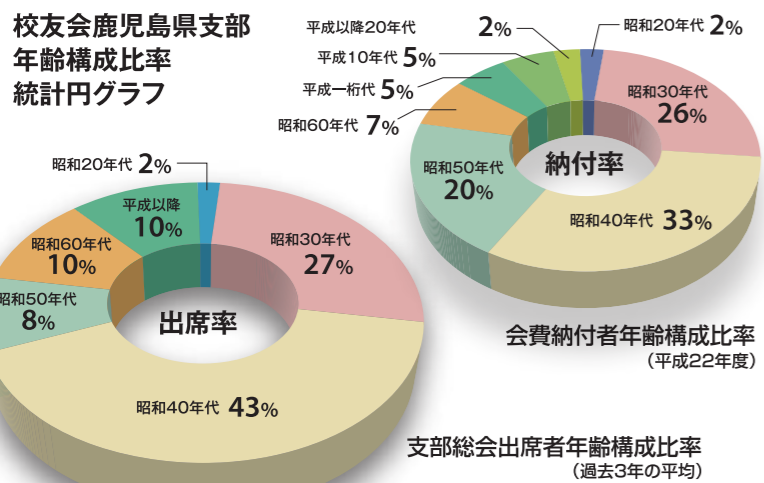


甫水会鹿児島県支部長  
吉岐卓朗



前 甫水会鹿児島県支部長  
濱田了二

●松下一なるほど、それは前向きに取り組  
まないとイケないですね。  
校友会の場合は繋がりは一生ですけれど



も、甫水会は4年間で卒業ですから、継続  
性という点で甫水会は空白になりがちなの  
では?と。支部会報の中に甫水会コーナーを  
構えたり、今回の対談とか掲載したり、現  
役学生や親御さん、甫水会OBの紹介欄も  
設けたりして、継続性のある情報交換の場  
を繋がりを作る場にしたと思ひます。

●吉岐 松下支部長の提言は非常にあり  
がたいと思ひます。ここは校友会の協力をお  
願ひし、まずは支部会報に甫水会コーナ  
ーを是非とも願ひします。5ページほどス  
ペースを頂こうかな? (笑)

●西元 では、広告協賛を5ページ分(笑)。  
●松下 話は少し外れますが、離島の会員  
の方々のサポート、これもとても重要で会  
報で情報発信なり、離島支部総会を計画  
するなり、何とかしたいと思つております。

●西村 分かりました。さて、校友会も懇  
親会ばかりでなく、異業種交流会や情報交  
換の仕事の繋がりのあるべきでないかと、要  
望もあつたりするのであればいいですね。

●松下 情報交換の場を求めているのは皆  
同じではないかと思ひます。特に現役でバリ  
バリ仕事している人達は、営業活動に活か  
したいでしょうね。そこは支部の中で青年部  
会やビジネスサークルを作る等あつても面白  
いかなと思ひます。

●濱田 私も、総会の時などいろんな人と  
名刺交換や話をしたりして、興味深い意見  
が沢山ありますね。ビジネスを前提としな  
い自然に参加している中で、それがやがて仕  
事の役に立つということが出てくるわけな

た、出席者に若い人が少ないです。安定  
的に発展するためには若い人達を取り込む  
工夫が必要かと思ひます。

●松下 今年の支部総会には皆さんの協力  
で開催でき、盛況の内に終わりました。しか  
し、濱田さんのご指摘にあった若い人の参加  
が少ないのが現状です。過去に校友会を「敬  
老会みたいだ」とか言つたやつもおりますが  
; 張本人がここにおります、西元君(笑)。そ  
こで若い人が、なるべく参加しやすいう  
今回、会費を従来の一律6千円に変更を加  
えました。30代以上は男性が6千円、女性  
が5千円、20代の会員は、半額の3千円、現  
役学生は無料という設定にしました。

異業種交流会や仕事の繋がりが





母は旧制の一高女を出ており、教職に就きました。母の留守中、私は小学校から帰ったら幼い妹に食事を作ったり洗濯したり

緒に行く」と泣いて母についていきました。

松下 終戦後は、どうなされたんですか？

奥村 長男の嫁とはいえ、夫の実家です。母は居辛かったです。翌年1月に、母の実家のある蒲生へ引越しました。私は長男の息子ということで実家に大切にされておりましたので、引越す時、母は私と一緒にくるかどうか尋ねてきました。私は「一緒に行く」と泣いて母についていきました。

松下 母は旧制の一高女を出ており、教職に就きました。母の留守中、私は小学校から帰ったら幼い妹に食事を作ったり洗濯したり

東洋大学を選んだ理由を教えてください。それまで鹿児島実業高校の伊勢校長(注)からの情報でした。鹿児島実業高校で受験でき、卒業後は教職への門戸が開かれている大学が東京にあると聞きました。それが東洋大学でした。暗黒に二筋の光が差し込んできたようなものです。でも、あの当時、鹿児島から東京の私学に、母子家庭の子が行くというのは、空を仰ぐ程に敷居が高いものでした。迷いましたが、母は「行つて来なさい」と理解を示してくれ、思い切つて受けました。法学部に受かったのですが、まず先立つもの

松下 いやいよ奥様の登場ですね。奥村 妻は中・高時代の同級生でした。大学時代、遠く離れた東京におりますと、彼女が思い出され、春休み、夏休み、正月には必ず鹿児島へ帰っていました。彼女を誰かに奪われはしないか(笑)と心配だったので、結婚が早かったのは、母子家庭で育ったので、早く自立して暖かい家庭を築きた

## 空襲を逃れ加治木へ

松下 子供の頃をお聞かせ下さい。

奥村 生まれは熊本市内です。父は陸軍中尉でしたが肺を患っていて、終戦の年の4月に陸軍病院で他界しました。10才の時でした。それから、ひと月後、昭和20年5月に熊本の街は大空襲を受け、母、妹、私の3人命だけは助かりました。その後、父の実家のある加治木へ引き揚げることになりました。しかし、今度は加治木が空襲を受けて、熊本から送った駅留めの荷物が全部燃えてしまい、3人共着の身着のまま実家に厄介になり、そのまま終戦でした。



## 奥村青年版「青春の門」

する日々が始まりました。

松下 中・高と学校の方は如何でしたか？

奥村 母子家庭でしたので家事や妹の面倒をみたりと勉強どころじゃない環境でした。ただ、スポーツは得意で、運動神経には自信がありました。母が教員だった影響で、自分も教員それも体育の教員になろうと思っていました。或は警察官か。いずれにせよ、金銭的に国公立に限られていたのです。

松下 その願いは叶ったのですか？

奥村 いや、悉く試験に落ちました。某国立大学では体育教員になるため高等体育を受験したのですが、それも実技で落ちまして、希望する進路は全て絶たれました。

仕方なく二年浪人して予備校に通うことになり、挫折と敗北の悲哀を味わいました。当時、田舎で浪人といえは「いい年をした若者が」と肩身が狭かったですね。母親の負担になっていたという負い目から、大学を卒業して教職に就き、一刻も早く自立したいと気持ちは強くなる一方なのに、予備校の授業内容に全くついていけず、有るのは「若さ」だけ、途方に暮れ、街をうろついたり、悶々とした暗黒時代でした。

松下 「青春の門」そのものですね。それで東洋大学を選んだ理由を教えてください。

奥村 鹿児島実業高校の伊勢校長(注)からの情報でした。鹿児島実業高校で受験でき、卒業後は教職への門戸が開かれている大学が東京にあると聞きました。それが東洋大学でした。暗黒に二筋の光が差し込んできたようなものです。でも、あの当時、鹿児島から東京の私学に、母子家庭の子が行くというのは、空を仰ぐ程に敷居が高いものでした。迷いましたが、母は「行つて来なさい」と理解を示してくれ、思い切つて受けました。法学部に受かったのですが、まず先立つもの



# 波瀾万丈

## クロースアップ・奥村 司 会員

インタビュー：松下 健 / 文章：春野 洋治郎・西元 大作 / 制作：西元 大作



始良市内の閑静な住宅街の一角にある奥村さんの自宅2階には、防音壁を施した「生きがい探し部屋」があります。カラオケセットやマジック道具・腹話術人形などが置かれ、定年後を豊かに暮らそうという人たちが集まってくる。今は健康生きがいづくりアドバイザーとして、手帳がスケジュールで真っ黒になるほど多忙な奥村さん。明るく陽気に生き生きと動かれる奥村さんですが、決して順風満帆な人生ではありませんでした。青少年時代の苦労や家族の死という辛い悲しい記憶といった、今だから語れる話を織り込みながら、取材は延々8時間に及びました。飾らない、気取らない、生涯現役の生き様が、ここにあります。



おくむら つかさ  
**奥村 司**  
健康生きがいづくりアドバイザー  
特技/マジック・腹話術 スポーツ/卓球

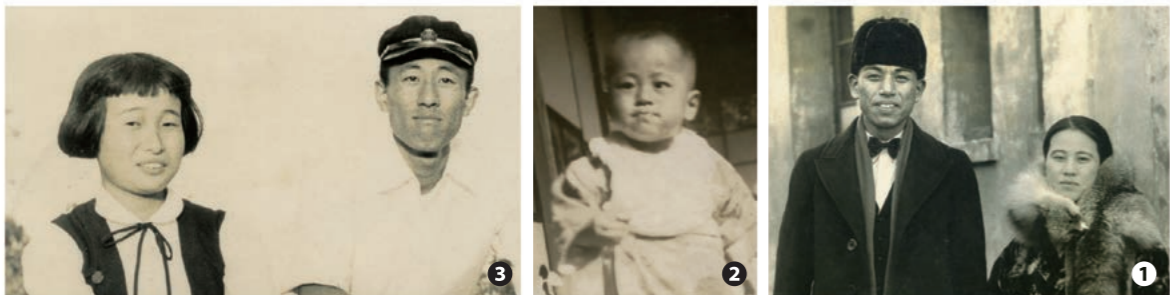
### プロフィール

- 昭和11年 熊本県熊本市に生まれる
- 昭和20年 空襲を避け父の実家、鹿児島の加治木に転居
- 21年 母の実家のある蒲生に転居  
母、自分、妹の三人暮らしが始まる。
- 30年 体育教師を目指すも大学入試で不合格  
蒲生から電車で鹿児島市の予備校に通う
- 31年 東洋大学法学部に入學
- 32年 大学2年時、法学部から文学部に転部
- 35年 大学卒業～福平中学校教員として初赴任  
以後、県内の中学校で国語教師として教壇に立つ。
- 平成 元年 川辺中学校で教頭職になる。
- 9年 上小原中学校で校長職となる。
- 10年 上小原中学校で定年を迎える。  
健康生きがいづくりアドバイザー資格取得
- 11年 鹿児島県始良福祉事業所の相談員になる  
相談員を皮切りに現在の精力的な活動に至る。
- 23年 11月23日、城山観光ホテルで金婚式

① 父 巖(いわ)・母 幸(さち)  
(昭和10年頃?)  
お父様は陸軍中尉だったとのことですが、お借りした70年以上前のアルバムには若い頃のお父様の写真が沢山ありました。お父様はモダンでインテリの方だったようで、奥村さんを外交官にしたいと思っておられたようです。

② 幼年期(昭和12年頃)

③ 高校生の頃の2ショット  
隣の女子学生は現在の奥村様です。(昭和28年頃)





9 ウララ面

土	金	木	水	火	月	曜
10.30 10.35	11.00 11.05	11.30 11.35	12.00 12.05	12.30 12.35	13.00 13.05	13.30 13.35
14.00 14.05	14.30 14.35	15.00 15.05	15.30 15.35	16.00 16.05	16.30 16.35	17.00 17.05
17.30 17.35	18.00 18.05	18.30 18.35	19.00 19.05	19.30 19.35	20.00 20.05	20.30 20.35
21.00 21.05	21.30 21.35	22.00 22.05	22.30 22.35	23.00 23.05	23.30 23.35	24.00 24.05

8 表面



7



当時の男子大学生は制服姿が普通だった。



15 定年後生き方 探しに協力



10

- 7 東洋大学吹奏楽部の仲間達と。予備校時代の暗さは何処へやら?(昭和34年)
- 8 学生時代に携帯していた時刻表。
- 9 時刻表の裏面は看護師姿の奥様の写真!
- 10 結婚式の時のスナップ(昭和37年)
- 11 卓球交流大会(ねんりんピックふくおか 平成17年)
- 12 鹿児島健康いきがづくりアドバイザー協議会の仲間達と反省会(平成21年)
- 13 読売新聞に健康いきがづくりアドバイザーの活躍を取り上げられる(平成17年)
- 14 浩平さんと。エンターテイナーの本領発揮。校友会支部総会で(平成18年)



14

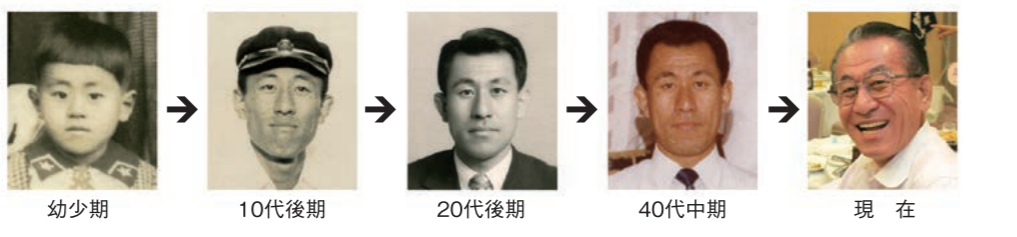


12



11

## かお 遍歴



- 【注1】伊勢校長 伊勢虎夫(いせ とらお)  
○東洋大学卒(昭和16史学)  
○校友会 第3代 鹿児島支部長(昭和38年~45年)
- 【注2】スキルズ性胃がん スキルズ胃がんとは胃がんの種類の中で最も悪性度の高いがんとなっている。症状が現れた場合には進行していることが多い。生存率は低く、余命と向き合わなくてはならないほどの末期の状態であることもある。アナウンサーの逸見政幸さんもスキルズ胃がんでした。
- 【注3】健康生きがいづくりアドバイザー 厚労省所管の「健康・生きがい開発財団」が認定し、中高年の在職中とリタイア後の健康生きがいづくりを、企業や地域で専門的に支援するコンサルタント。養成講座が通信講座を修了し、資格審査試験に合格することが必要。健康・生きがい開発財団 <http://www.ikigai-zaidan.or.jp>
- 【注4】秋丸支部長 秋丸光良(あきまる みつよし)  
○東洋大学卒(昭和6倫理)  
○校友会 第4代 鹿児島支部長(昭和45年~60年)  
○学校法人 東洋大学理事(昭和54年~60年)

先生になつてから勉強 松下 教員時代の話を聞かせてください。奥村 初任は福平中学校(昭和35年)でした。バレー部の顧問を任せられ、ボールが見なくなる夕方遅くまで熱血指導をしていました。その後、県内の中学校を転々として川辺中(平成元年)で教頭、上小原中(平成9年)で校長を務めさせていただきました。松下 教職にあつた37年の間には、いろいろと「苦労があつたか」とありますが。奥村 国語の教師ですから、教科書に出てくる作品は全部読もうと、暇さえあれば学校の図書館に籠っていました。「奥村は図書館におつと」と職員間では有名でした。管理職になつてからは、難儀な諸々の交渉の矢面に立たなければならず、大変な仕事でした。孤軍奮闘することも多々ありましたが、自分の信念を貫いてきたつもりです。

自慢の息子の死 奥村 一度だけですが、教員を辞めようと真剣に思ったことがあります。松下 それは、いつのことですか? 奥村 川辺中学校の教頭時代です。長男がスキルズ性胃がん(注2)で亡くなったのです。松下 詳しくお聞かせ下さい。奥村 自慢の息子でした。大手情報機器会社に就職し、世界中を飛びまわっていました。ところが、がんを患い、11ヶ月にわたる入院の内に意識が薄れていき、自分の病室すらわからなくなっていました。私は早朝から深夜まで仕事に追われ、息子のそばにいてあげられなかったのです。その時、初めて息子の婚約者がいることを知りました。休みの都度、東京から駆けつけて下さいました。松下 家族皆つらかつたでしょうね。

奥村 なんとか時間を調整して病室へ駆けつけると、妻と医学生だつた二男が長男のそばで明るく振る舞っていました。看病する妻と二男、婚約者、その婚約者すら分からなくなつた息子、現実を見るのが辛くて、気が段々なくなっていました。そして長男は、29歳の誕生日の前日に息を引き取りました。松下 言葉がでませんね。奥村 しかも、息子が息を引き取つた直後、看病疲れで妻が倒れてしまいました。今度は妻の看病と私の転勤が重なり「もう仕事を辞めよう」と追い込まれました。ところが、そんな私に「二男がこう言いました。「辞めてどうするんだ。乗り越えて、しっかり生きていかなきゃ」。そのひとりで、生きていくことに真摯に向き合おうと決心しました。しかし、本当に立ち直るには、少し時間がかかりました。

どん底から生き甲斐へ 松下 先輩は定年後、いろいろと精神的にがんばつていらっしゃいますね。奥村 定年前は、暫くは長男のこともあり、塞ぎ込みがちな日々でした。「悠々自適の定年後」ですね?と話かけられるのが苦痛でした。これからどうやって前向きに生きていこうか自信もありませんでした。そんな時に目にしたのが資格「健康生きがいづくりアドバイザー(注3)」でした。興味を持ち読むうちに「家族をはじめいろいろな人のおかげで自分がある。莫大な国の医療費のおかげで長男や母は高度な医療や手厚い福祉を受けてきたし、妻は今もその恩恵にある。自分から出来ることで何か恩返しをしたい。体の奥からそんな強い思いが湧いて来たのです。それからは資格取得のため勉強しました。その時点で「悠々自適の定年後」ではなく「生涯現役」を選んだことになりました。

松下 いよいよ先輩の本領発揮ですね! 奥村 定年退職した勢いで、大阪に三度出向き、アドバイザーの資格を取得しました。翌年の平成11年には、開始良福祉事業所の福祉相談員として7年間務めることになりました。その間にアドバイザー間の交流も生まれます。月に一回反省会と称して飲み会をするような仲になり、気が付くとすっかり立ち直つている自分を発見しました。日本は長寿世界を誇っていますが、重要なことは健康な高齢者であること、寝たきり、入院、介護のお世話にならないことが、社会に奉仕することだと思つていきます。自分もその為に健康でなければなりません。先のアドバイザー仲間と始めた「らくらく体操教室」は10年を迎えます。講話マジックなどいろんな活動に走りまわつております。手帳が真っ黒になつていくのが嬉しいですね。これからは人が楽しく思つて、高齢者が元気になることなら、どこへでもボランティアに出かけたいです。

東洋大学・校友・後輩達へ 松下 実に素晴らしい話です。では、最後になりましたが、東洋大学と後輩に対してメッセージをいただけませんか? 奥村 私の人生は東洋大学が無ければあり得ませんでした。感謝しています。秋丸支部長(注4)時代から校友会は参加しています。また、大学は私の時代からは比喩的にならないほど発展し、駅伝や野球など好成績を納め、校友として嬉しい限りです。創立125周年に向けてさらなる飛躍と発展をお祈りします。後輩の方々へは、恐れ多いのですが「正しいことをして、人を恐れるな」という言葉をおくりたいと思います。松下 ありがとうございます。



4 教員時代(昭和40年代) 5 福平中学校で初めて担当を受けた時の卒業写真(昭和38年) 6 教え子達の還暦パーティーで。上記の福平中の生徒達も還暦を迎えた。(平成21年)



## 「現役校友」の活動を伝えます。

しぶ や とし ひこ  
出水市長 **渋谷 俊彦**さん

鹿児島県出水市出身 東洋大学経済学部経済学科卒業 (S42)



### プロフィール

昭和17年出水市生まれ。  
昭和42年東洋大学 経済学部卒業。  
代議士秘書などを経て、昭和57年合併前の旧出水市議会議員に初当選。平成7年3月まで市議を4期務める。平成2年11月～平成4年11月旧出水市議会副議長。平成4年11月～平成6年11月旧出水市監査委員(議員選出)。  
平成11年～18年3月旧出水市長を2期務める。市町村合併後初の出水市長選挙で当選を果たし、平成22年4月から現職(合併後2期目・通算4期目)。

### 「ツルの里、に激震」

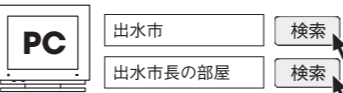


平成22年12月22日 南日本新聞朝刊

### 畜産王国ショック



平成23年1月26日 南日本新聞朝刊



「発掘ザ校友」は現役バリバリで活躍している鹿児島県の校友を発掘or再発掘し、皆さんに紹介・活動告知をするものです。その第三弾は渋谷俊彦さんです。渋谷さんは出水市出身、経済学部を卒業し、現在は出水市長として2期目を務められております。豪雨災害、世界同時不況による企業撤退、鳥インフルエンザ問題等、逆境にも負けず闘っています。校友の奮闘ぶりをお読み下さい。

## 逆境は人生最大の師なり～渋谷さんの闘魂

### 報道の渦中に入った人

昨年(平成10年)の暮れから今年の1月に渡り、鹿児島県北部にある出水市で起きた「鳥インフルエンザ」の事件は鹿児島島在住の人なら殆どが記憶にあると思います。後の3月11日にあった東日本大震災の発生で、影が薄くなりましたが、「鳥インフルエンザ」の発生した出水市はそれが収束するまで本当に大変な時期であったようです。そして、そこで首長として陣頭指揮をとっていたのが、校友でもある渋谷俊彦出水市長でした。テレビや新聞で騒がれる出水市の「鳥インフルエンザ」のニュースを見聞きする度に、報道陣に揉みくちゃにされながらも奮闘する渋谷さんに思いを馳せた校友も多かったのではないのでしょうか?

### 選挙陣中見舞い (平成22年4月3日)

去る平成22年4月3日、任期満了に伴う出水市長選挙に立候補を表明している現職で市町村合併後2期目を目指す校友の渋谷さんを激励する為、校友会鹿児島県支部は岩城前支部長、松下支部長、西村副支部長、西元事務局の4人で選挙事務所訪問、福島校友会会長からの推薦状を持参し、直接本人にお渡しいたしました。渋谷さんは丁度遊説から戻ってきたところで、我々を笑顔で迎えてくださいました。

しかし、選挙や市政の話になると、選挙は厳しい闘いになるが、当選したとしても苦しい闘いになる、誰が市長になっても4年の任期は苦しいものになるだろうと言っておられました。それから2週間程経ち、4月18日には当選確実となり、校友一同喜んだのでした。

### 闘いは既に始まっていた。

平成22年4月20日の南日本新聞朝刊の渋谷さんの紹介記事には、記者のインタビューに答え「市は多くの課題を抱えており、次の4年間で大切。市民の期待に応えるため新たな決意で意義ある4年間にしたい」。厳しい選挙戦を経て体重も数キロ減った…とありました。

出水市といえば「ツルと歴史のまち」として有名ですが、バイオニア、NECという日本を代表する企業の工場があることでも有名でした。かつて歴代の出水市長は、式典や行事で必ずと言っていいほど「NECのある街、出水です…」という趣旨の挨拶していたそうです。しかし、渋谷さんの市長一期目(合併後)の任期中に、サブプライムローン問題が発生、アメリカの住宅バブル崩壊に端を発した世界同時不況は出水市

のような地方の町にも影響を及ぼしました。平成21年、2月に出水市のパイオニア鹿児島工場は閉鎖になり、511人の退職者、下請工場の連鎖倒産が起きました。また、その前の年には県北部豪雨災害で米之津川の水があふれて出水市街地が浸水に遭う等大きな被害を受けています。出水市は一地方自治体では抗することが不可能な世界同時不況と自然災害に翻弄され、大変な状況にあったと思います。

### そして鳥インフルエンザ

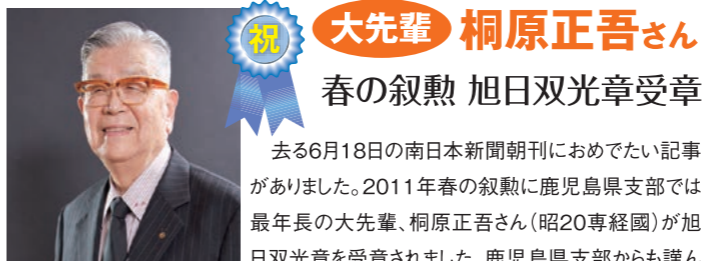
二期目の任期1年目を終えようとした12月末、出水市を震撼させる事件が起きました。越冬で飛来したナベヅルが鳥インフルエンザに感染しているのが判明、それが引き起こす養鶏農家への感染の防御や観光の風評被害問題でした。以下は事件の真只中、平成23年1月7日に市の職員に訓示した内容です。この内容から出水市の当時の状況、渋谷さんの市政に対する思いが伝わってくると思います。

### 出水市職員への訓示 (平成23年1月7日)

御承知のとおり、ツルの高病原性鳥インフルエンザは、今のところ比較的落ち着いた状況にあらうかと思っています。職員の皆さん方をはじめ、立哨、消毒体制の充実、市民への啓発活動等、それぞれの分野で積極的に協力を頂いているおかげさまで現在の小康状態を保っていると思っています。しかしながら、ここで気を緩めることなく、更にしっかりとした防疫体制を確立していかなければならないと思っています。特に、国・県においても積極的な指導、助言を頂いているところですので、一体となって、これ以上の感染が拡大しないように、特に一大産業の養鶏事業にこのことが災いとならないように、更に細心の注意を払って万全の体制を構築していきたいと思っています。

昨日からタンクローリーでの消毒の散水も始まっているようですが、本日改めてその出発式を行って、市民の方々にもより積極的な協力を呼び掛けていきたいと考えています。特に、消毒ポイントや通行規制を掛けているポイント等において職員の皆さん方が年末年始の休みも返上して取り組んでいたことには改めて感謝を申し上げたいと思います。そういう行動こそが市民の皆さん方に感銘を与え、市民の方々から職員の行動への評価がなされると思っていますし、そのことが市民の方々からの行政に対する協力意識にもつながってくるのではないかと考えていますので、皆さんの努力に感謝したいと思っています。(出水市WEB 市長のメッセージより引用)

「発掘ザ校友」ではみなさんからのイキの良い情報を募集いたします。事務局・西元までご連絡ください。E-mail: deesaku@mac.com 携帯メール可



## 大先輩 桐原正吾さん 春の叙勲 旭日双光章受章

去る6月18日の南日本新聞朝刊におめでたい記事がありました。2011年春の叙勲に鹿児島県支部では最年長の大先輩、桐原正吾さん(昭20専経國)が旭日双光章を受章されました。鹿児島県支部からも謹んでお祝い申し上げます。桐原さんは元鹿児島県味噌醤油工業協同組合理事長でありまして、長年の県内の味噌醤油業の発展に寄与尽力されました。この件に関しましては昨年の鹿児島県支部の会報でも「波瀾万丈」でカネキ醤油での苦労話として取上げております。ですので、支部としても桐原校友の春の叙勲の受章は感慨深いものがあります。今一度昨年の支部会報の「波瀾万丈」をお読み頂ければ幸いです。尚、松下支部長の方から校友会本部に校友会会長賞の申請も提出してあります。



### 第14回 ホームカミングデイに行ってきました!

10月30日(日)、白山キャンパスに約600名の卒業生が集い、2011年度ホームカミングデイが行われました。事務局・西元も初参加してきました。こんな楽しいイベントがあったんだ…!もっと早く知っておけば良かったと喜んだ次第です。上記左写真は私事で恐縮ですがサークルの仲間です。皆、初めて参加するメンバーばかりですが「こんなに良いイベントがあったなんて。知らなかった」と同じ感想をもったようで、毎年この日に集まろうと約束したのでした。最後に、支部からバザー用には送られた「こんがりどん」はと〜っても好評でした。

平成22年度～24年度 東洋大学校友会鹿児島県支部 役員構成				
顧問	村松 勇 (S34・文)	岩城 健 (S40・経済)		
相談役	渋谷 俊彦 (S42・経済)	青木 寿男 (S41・経済)	有村 貞輝 (S38・経済)	
支部長	代議員 松下 健一 (S47・経法)			
副支部長	代議員 西村 正一郎 (S44・文)	レディース会 野村 涼子 (S45・観光)	会計 松永 幹太 (S53・経済)	
幹事長	西元 大作 (S60・法)			
幹事	有馬 泰祐 (S40・経済)	能 塩 祐 孝 (S51・法)	下原 実清 (S45・文)	江口 慶子 (S63・文)
	大橋 紘一 (S42・社会)	菊 浦 紀 明 (S40・経済)	福山 厚裕 (S63・法)	
	豊島 亮一 (S44・商)	岩本 宏之 (S43・法)	池田 日道 (S63・観光)	
監事	中野 博愛 (38・経済)	有村 孝一郎 (49・経済)		



発行 / 東洋大学校友会鹿児島県支部 平成23年12月吉日  
事務局 / 西元大作 〒890-0012 鹿児島市玉里町6-10-402 Tel.090-4174-7680  
発行総責任者 / 松下健一、編集長 / 西元大作、協力 / 西村正一郎、春城卓朗・濱田了二、岩城 健



## ★ゲスト紹介★ 富永 章子さん

本年の支部総会・懇親会に於いて、東日本大震災の被災地応援ソング「TOGETHER」を浦水会OBの平瀬さんと一緒に歌い、キーボードを弾いていた方です。普段はマーサ三宅ヴォーカルハウス鹿児島ランチ代表として歌唱指導とピアノの講師をしておられます。今回は教え子である平瀬さんの縁で校友会に参加されました。初めての校友会でしたが、東洋大学の卒業生がいろんなところで活躍していると知り興味を持ったとのことでした。箱根駅伝も応援していただけるかもしれません。尚、懇親会で披露した「TOGETHER」のCDは当日持参分20枚は直ぐに完売、注文もあり後日発送した分も含め27枚が売れたとの事で大変感謝されました。●経歴 / 第20回ポプコン九州大会グランプリ、同つま恋本選会出場、その後東京へ上京し、ジャズ系ポピュラー歌手マーサ三宅へ師事5年後、故郷の鹿児島でマーサ三宅ヴォーカルハウス鹿児島校設立の為帰郷。現在、ライブ活動等、更にテレビ、ラジオなどに精力的に出演し好評を得ている。



## 創立125周年記念 事業募金への ご支援のお願い

創立125周年記念事業募金に是非多くの皆様のご協力を願います。目標額30億円そのうち卒業生に5億円をご協力願うとなっています。平成20年に募集を開始して、募集期限の平成25年3月まで残すところあと1年余りとなりました。しかし、現在までのところ大変厳しい状況で平成23年11月時点で達成率が約12%となっているようです。この支部会報で浦水会と校友会の支部の対談でも、触れましたが、東洋大学は125周年記念事業としていろいろと計画しているようです。寄付はその計画に参加するようなものです。是非、母校の発展に一層の寄与をお願い申し上げます。

### 編集後記

師走に入ると、支部会報も大詰め段階に入ります。支部会報もいよいよ印刷に入る段階になりました。今回は通常20ページのところを頑張って28ページに増量しました。○浦水会との対談○浦水会のページ○東日本大震災「その時あなたは？」等の新企画を立てました。松下支部長をはじめ、支部役員の方々や浦水会の吉岐支部長や濱田前支部長、震災インタビューに答えていただいた方々には大変お世話になりました。また、従来の支部総会の模様を写真群で見せていく「写真は語る」は支部総会だけでなく、新年会、お花見会、相撲の応援、レディース会、役員の方々の参加したイベントなども掲載し、写真でみる会務報告というカタチに発展させてみました。これで具

体的な1年の活動がビジュアルに分かるのではないのでしょうか?こうやって全部を俯瞰してみると、校友会鹿児島県支部が如何に多くの活動をしてきたかが、見えてくると思います。最後に浦水会メンバーとの対談の後にプチ懇親会を行いました。その時の写真を掲載します。来年が校友の皆様にとって実り多い年でありますよう心より願っております。





## 東洋大学浦水会 鹿児島県支部

1本1本精魂込めて

## カネキ醤油・味噌 桐原醸造



取締役 会長 桐原正吾 (昭和20年 専経国)

桐原醸造

検索

鹿児島県南さつま市加世田唐仁原6166 TEL.0993-53-5123/FAX.0993-52-2621



たしかな品を、よい素材で、誠実に  
昭和製菓株式会社

## 薩摩庵

専務取締役 有村貞輝 (昭和38年 経済学部卒)

七ツ島見学工場 昭和製菓薩摩庵 検索

〒891-0132 鹿児島市七ツ島1丁目1番22号  
TEL 099-262-2020 FAX 099-262-2100



産業廃棄物収集運搬・一般貨物・重量物運搬移動・建築骨材販売

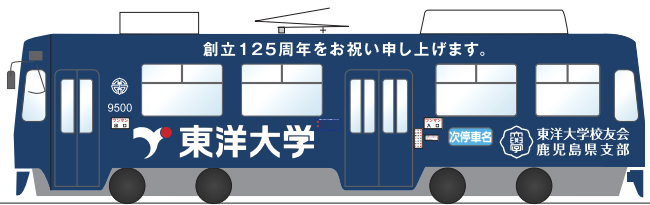
## 有馬運送株式会社

代表取締役 有馬泰祐 (昭和40年 経済学部卒)



〒891-0131 鹿児島市谷山港3-1-29  
TEL.099-261-3311 FAX.099-261-4188

電車・バス・フェリー etc... 交通広告のことなら...



創立125周年をお祝い申し上げます。

旭プラネット 代表取締役 岩城 健 (昭和40年 経済学部卒)

〒890-0054 鹿児島市荒田一丁目3番19号 Tel.099-251-3240 Fax.099-251-3227

## International Natural YOGA

YOGA インストラクター  
野村 涼子 (昭和45年 観光卒)

〒890-0014 鹿児島市草牟田2丁目59-11  
Phone & Fax 099-226-8340 Mobile 090-7383-2519



心・体・精神が健康だったら、夢はかないます。

機械警備・常駐警備・交通誘導警備・輸送警備



鹿児島県公安委員会認定 第58号

## 東洋警備株式会社

代表取締役 松下 健一 (昭和47年 法学部卒)

〒890-0046 鹿児島市西田三丁目10番25号  
TEL.099-253-7111 FAX.099-253-7155

URL <http://www5.ocn.ne.jp/~toyo-sec/> E-mail: [toyo-security@basil.ocn.ne.jp](mailto:toyo-security@basil.ocn.ne.jp)

鹿児島県支部会報 制作担当

## グラフィックデザイン Ducks Field ダックス フィールド

代表・制作 西元 大作 (昭和60年 法学部卒)

〒890-0012 鹿児島市玉里町6-10-402  
Tel & Fax.099-226-8592 E-mail. [deesaku@mac.com](mailto:deesaku@mac.com)



パンフレット、名刺、チラシ等の  
紙媒体広告制作全般 及び  
写真撮影・ビデオ制作・Web制作



細やかな人情と  
素朴な  
いで湯情緒に  
心ゆくまで  
おひたりください

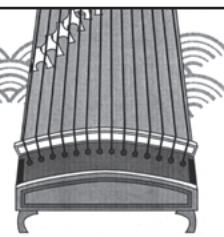
みどり荘 検索

[www.midorisou.com](http://www.midorisou.com)

〒899-3303 鹿児島県日置市吹上町吹上温泉 代表取締役 池田日道 (昭和63年観光卒)  
TEL.099-296-2020 FAX.099-296-4920

## 匠の技。

心にしみる伝統の音色、格調高い弦の響きを極限まで追求した中村屋の和楽器。研ぎすまされた匠の技が演奏家の心に響きます.....



和楽器専門店  
御琴・三味線・太鼓・製造・修理

## 中村屋楽器店

中村真介 (平成15年 文学部卒)

〒892-0844 鹿児島市山之口町8-41 ☎099-222-4615・222-2719

## 良質なお湯と人情を守りながら 竹迫温泉

平瀬 健 (平成19年 経済学部卒)  
勤務先/東京ガスライフバル千葉

○営業時間 5:30~22:30○毎月16日定休日○駐車場完備  
鹿児島市下荒田三丁目22-10(八幡小近く) Tel.099-255-1954



ここは私の三ツ星エリア!

## ホテルタイセイアネックス

鹿児島中央駅から徒歩3分!

鹿児島市中央町4-32

TEL 099-257-1111

